

アルフォンス・ミュシャ展が始まりました。

12月11日(日)から特別展「暮らしを彩るアル・ヌーヴォーの画家 アルフォンス・ミュシャ」が始まりました。アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)は19世紀末のヨーロッパで流行した芸術様式「アル・ヌーヴォー」の代表的な画家として広く知られています。本展ではポスターや室内装飾パネルなどの代表作や、祖国チェコで手掛けた切手や紙幣など、初公開の資料を含む約400点を展示しています。

初日の11日には、本展にミュシャの貴重な作品を多数出品していただいている所蔵家・尾形寿行さんによるギャラリートークを開催しました。作品の魅力のほか、作品蒐集にまつわる裏話などもお話しいただき、皆様熱心に聞き入っていらっしゃいました。



尾形さんには、ご自身のミュシャ作品との思い出を交えながら、その魅力を語っていただきました。最後に「この展覧会が皆さんとミュシャの良い出会いになれば」とおっしゃっていたのが印象的でした。

開幕に先立って開催した開会式にも多くの皆様にご臨席いただきました。ありがとうございました。



アルフォンス・ミュシャ展は2017年2月12日(日)まで開催中です。